

国際政治

38

平和と戦争の研究 II

日本国際政治学会編

軍部とデモクラシー ——日本における国家総力戦準備と軍部批判をめぐって——	木坂 順一郎
戦後日本の軍事費と財政法	安藤 実
第一次大戦後におけるドイツ再軍備の 段階的発展と国防軍の政治路線	山口 定
西ドイツの再軍備とデモクラシー	松隈 徳仁
第一次世界大戦における日独関係と日露関係 ——日独ストックホルム交渉と対露武器供与問題——	三宅 正樹
ヤルタ会談の戦後処理方式	吉川 宏

<合評>

信夫清三郎著『戦後日本政治史』（全四巻）

岡本宏 安部博純
毛利敏彦 木下威
谷川栄彦

<研究動向>

宥和政策にかんする最近の研究から

野田 宜雄

<書評>

ペ・エム・ロガチェフ、エム・ア・スヴェルドリン共著
『民族—人民—人類』

西村 文夫

A・ラル著『現代の国際交渉』

小川 芳彦

1969年刊